

# 平成18年度「専修学校社会人新キャリアアップ教育推進事業」成果報告書

事業名	八幡の杜ポートフォーリオの開発事業		
法人名	学校法人 文理学院		
学校名	文理ランドスケープ園芸専門学校		
代表者	理事長 千葉 雅保	担当者 連絡先	渡辺 嘉昭 TEL022-215-5112
<p>1. 事業の概要</p> <p>2007年度問題のひとつ団塊の世代の問題をテーマに、①情報交流の場の提供や多岐にわたる学習の場の提供を考察②社会の各層との交流を手始めに個人の主体性がもてる場の提供③個々人の生涯教育の場で終わらせず、さらに地域社会のボランティア活動に携わり地域社会の発展に貢献させる。などを目的に主に資格取得を目標とした導入編4講座を設置する。</p> <p>2. 事業の評価に関する項目</p> <p>①目的・重点事項の達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報交換の場として多数の参加者を得られたことは、初の試みとしては成果を得た。</li> <li>・参加者の平均年齢は50代半ばであったが、退職後や子育てが落ち着いた人々の余暇の使い方への関心度の高さは測れた。</li> <li>・具体的に団塊の世代の人々の考えやどのように過ごしたいか、時間や金銭的な面などシビアな点がヒアリングできた。</li> </ul> <p>②事業により得られた成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回は4種の資格取得の導入的講座を講演と実践を用いて実施したが、その後も本格的に取得したいがために、各種講習会への参加を申し込んだ人がいた。・導入講座(動機付け)として4種3回設置したが①回数を増やして欲しかった。②次のステップの講座が欲しい。③今回設置できなかった多種の資格取得講座を設置して欲しい。④「関心はあったが身近で気軽に参加できる機会がなかったので大変良かった。」という声が多く聞かれ、今後の生涯学習に広がりを感じた。</li> </ul> <p>③今後の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は参加者の多かった講座で引き続き学習したいという講座について、団体や個人と協議の上、本校で本格的な開催を検討する。</li> <li>・できれば本校の人材や資産、環境を売りに関連講座を開発していきたい。</li> <li>・個人の持っている資質を磨き上げて社会で再貢献できる環境を整える。</li> </ul> <p>④次年度以降における課題・展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女各々関心の高いと思われる講座2種づつ設置したが男性の申込みが少なかった。男性は申込者の平均年齢が50代半ばであることから、まだ仕事に従事している人も多いことが関係していると思われるが、それにしても余暇の使い方が下手である。これらの現実を考えると、特に男性への啓蒙を強化し続けて行く必要性を感じる。</li> <li>・再就職へのフォローとなるとステージを上げた講座の必要性も出てくる。前述したがレベルを上げた講座や多種多様な資格取得講座の設置を試みる。</li> <li>・当初、1日6時間(座学+実践)の講演を計画したが中高年には長時間と思われるので3~4時間に短縮した。次年度実施となればこの程度の時間設定とする。</li> </ul>			

### 3. 事業の実施に関する項目

#### ①キャリアアップ講座の実施

- ・実施状況は別紙1、各講座アンケートは別紙2、3、4、5を参照

#### ②その他

- ・今回の告知にあたって宮城県社会福祉協議会との連携(会員60才以上へDM)により、本事業のターゲット層への告知を試みた。その効果は高かった。
- ・研修センター(8300㎡)の自然の中で人との交流の場を提供し、また、人との輪を広げるために「八幡の杜パーク・パスポート」を発行した。
- ・設置講座については20種程度の資格取得講座の中から、ターゲット層に興味の高い講座と今後需要が伸びる様相の強い講座(発展性の高い)を選定した。
- ・実施状況を撮影し本校ホームページにアップして閲覧できるようにしている。